

KS-31A

ポイントカンサーチ 取扱説明書

このたびはポイントカンサーチをお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用になる前に必ず本説明書をお読みください。また、お読みになった説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

⚠ 警告

- 本器を改造したり分解したりしないでください。重大な事故の原因になる恐れがあります。
- 雨中では危険ですので使用しないでください。感電の恐れがあります。

⚠ 注意

- テレビ、ラジオや赤外線リモコン方式の機器から離して使用してください。本器から発生する電波により、動作不良等の障害が発生する恐れがあります。
- 子供には手を触れさせないでください。

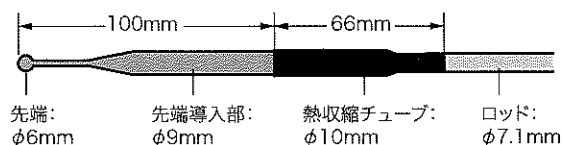
⚠ 使用上の
ご注意

- 送信アンテナ用ロッドは、車内などの高温下や、直射日光の当る場所に保管しないでください。
- 無理な引っ張りや押し込み、極端な曲げは避けてください。ロッドが破損します。
- 電池は付属していません。新しい電池をご用意ください。
- 本説明書に記載の用途以外には使用しないでください。

セット内容

送信アンテナ用ロッド : 1
(ロッドケース入 約30m)
送信器 : 1
受信器 : 1
受信用アンテナ : 2(予備1個)
送信器用延長コード : 1
収納ケース : 1
(送信アンテナ用ロッド以外を収納)

■送信アンテナ用ロッド 先端部サイズ



■使用電池

受信器: 006P(9V) アルカリ乾電池×1個

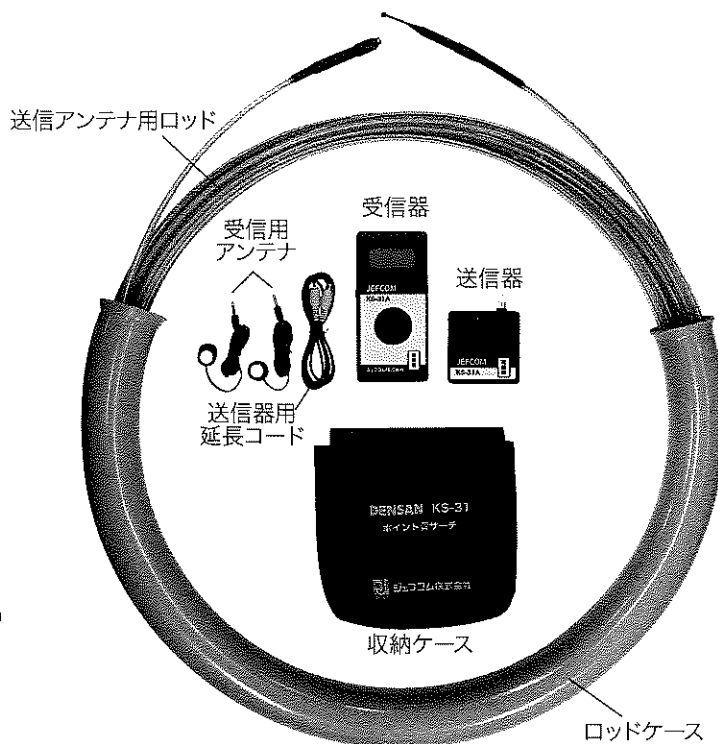
送信器: 006P(9V) アルカリ乾電池×1個

※電池は付属していません。

ご使用時は新しい電池をご用意ください。

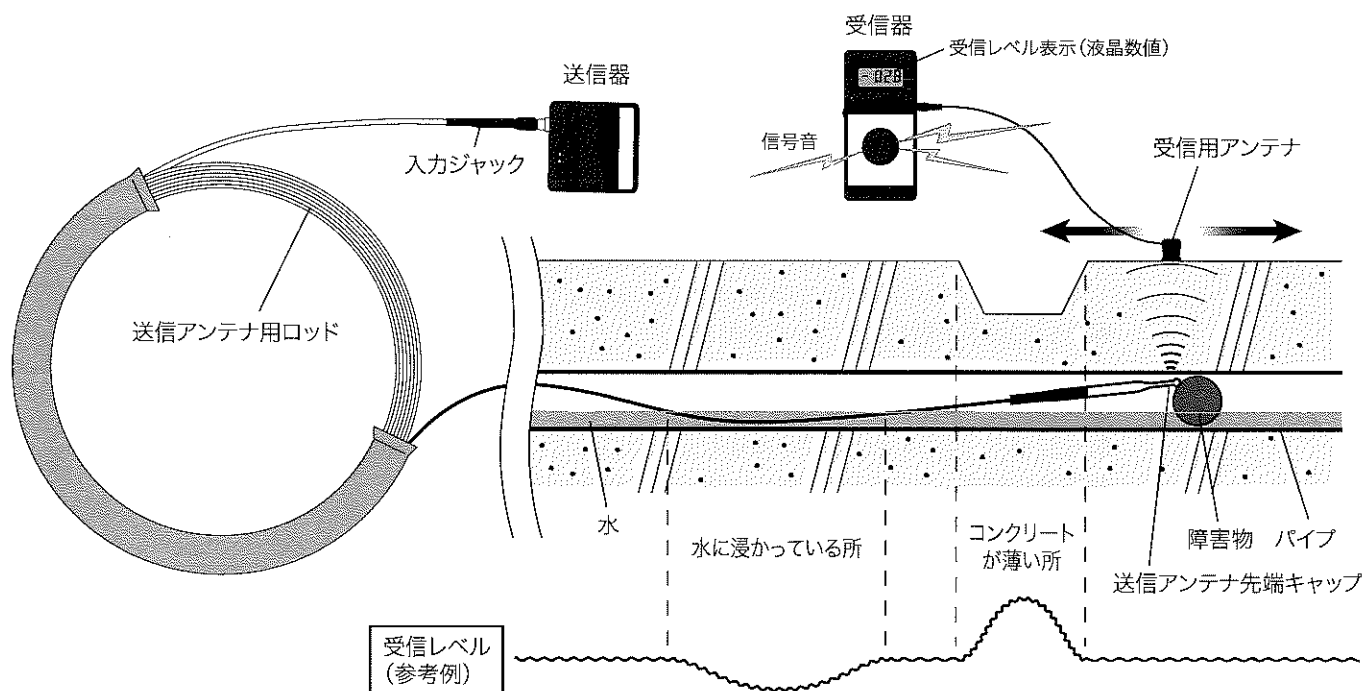
特長

- CD管、電線管内の障害物の位置を探知
- 既設の配管経路の探知
- AC電源不要の電池タイプ
- 受信レベルが音と数値表示でわかる



システム概要

ポイントカンサーチシステムは、送信器・受信器・送信アンテナ用ロッドから構成されています。
送信器からの連続信号を送信アンテナ用ロッドに送り、先端キャップ部から輻射される電磁波を受信器で受信し、スピーカーからの連続信号の音量と、液晶表示の数値の変化により探知を行います。



受信レベルの変化: 送信アンテナ用ロッドが水中に入ると、受信レベルが低下します。
コンクリートの厚みが薄い場合は、受信レベルが増加します。

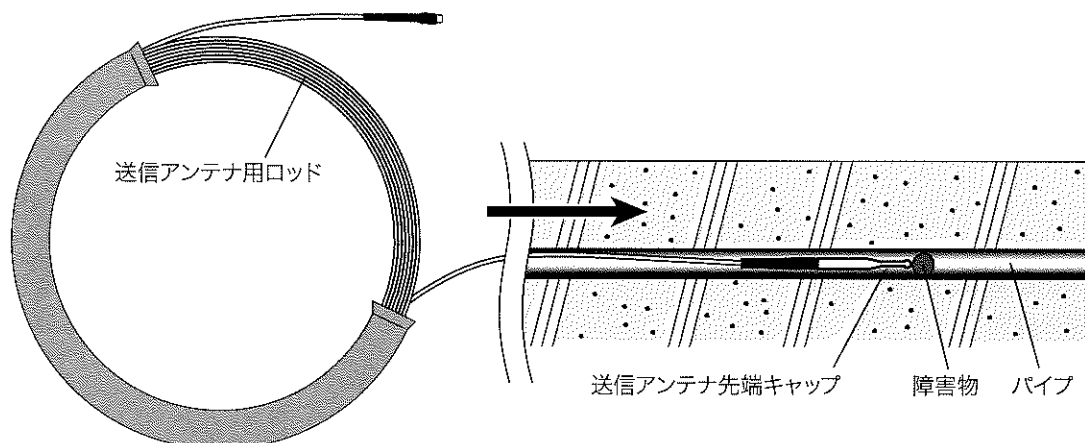
使用方法

①送信器・受信器の裏ぶたを開けて、電池の+/-を間違えないようにセットします。

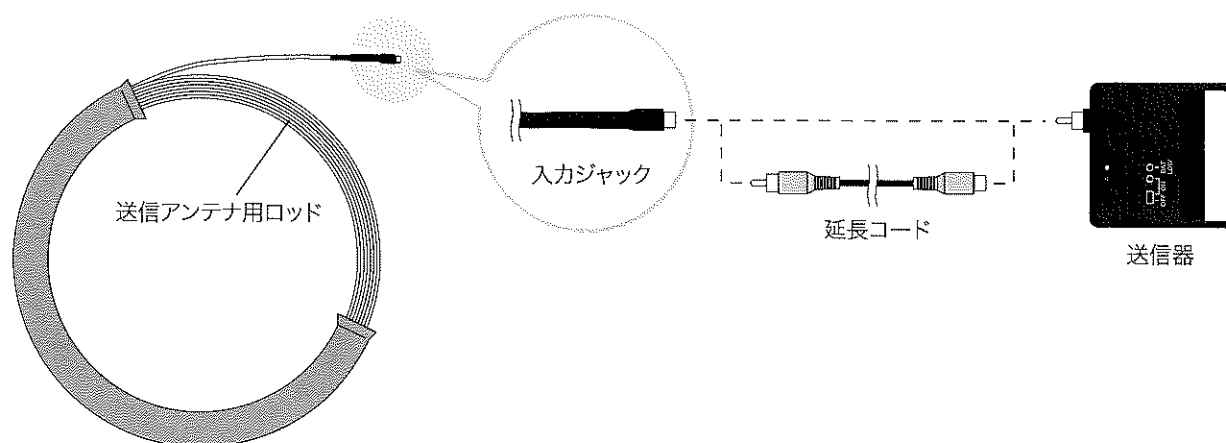
⚠ 注意: 電池は付属しておりません。ご使用時は新しい電池をご用意ください。
電池端子用リード線は強く引っ張らないでください。切れる恐れがあります。



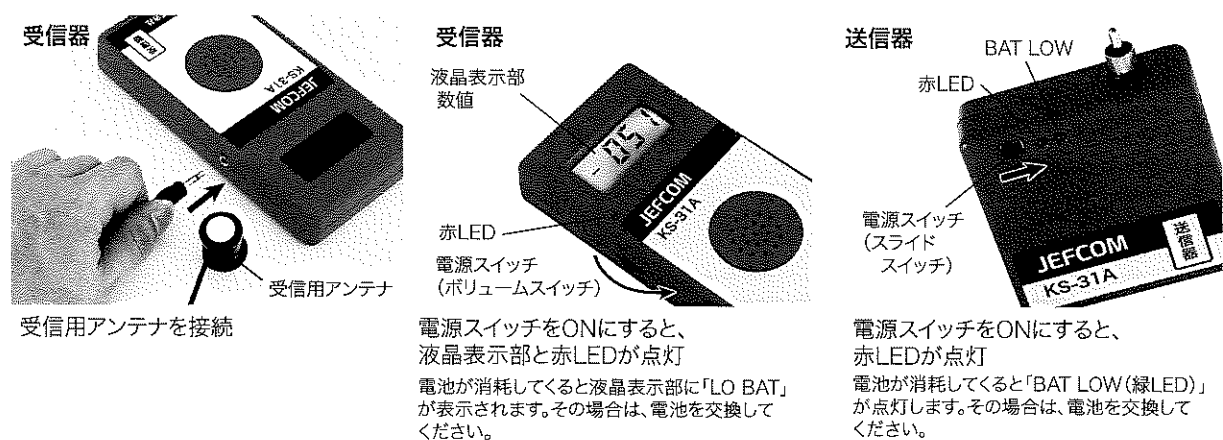
②送信アンテナ用ロッドの先端キャップ側を引き出ししながら、管内の障害物の所まで先端キャップを送り込みます。



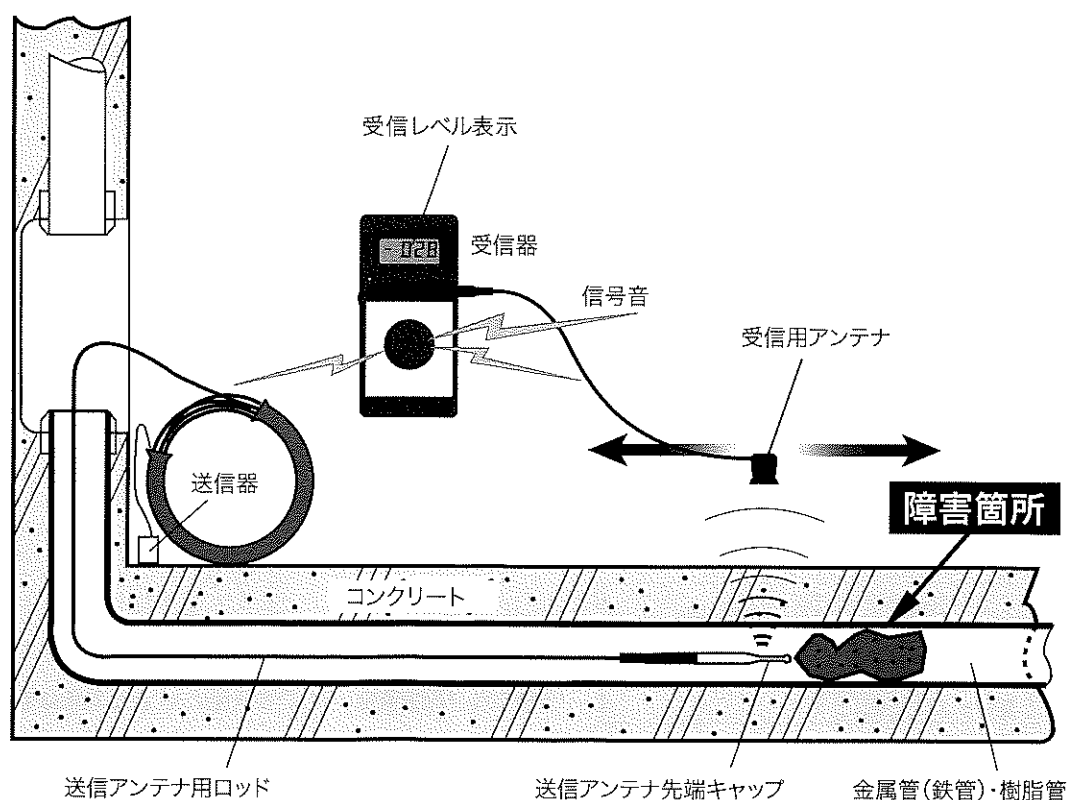
- ③送信アンテナ用ロッドの入力ジャックに、送信器の出力プラグを差し込んで、接続します。
(または延長コードを使用して接続します)



- ④受信器に受信用アンテナを接続した後、送信器と受信器の電源スイッチをそれぞれONにします。

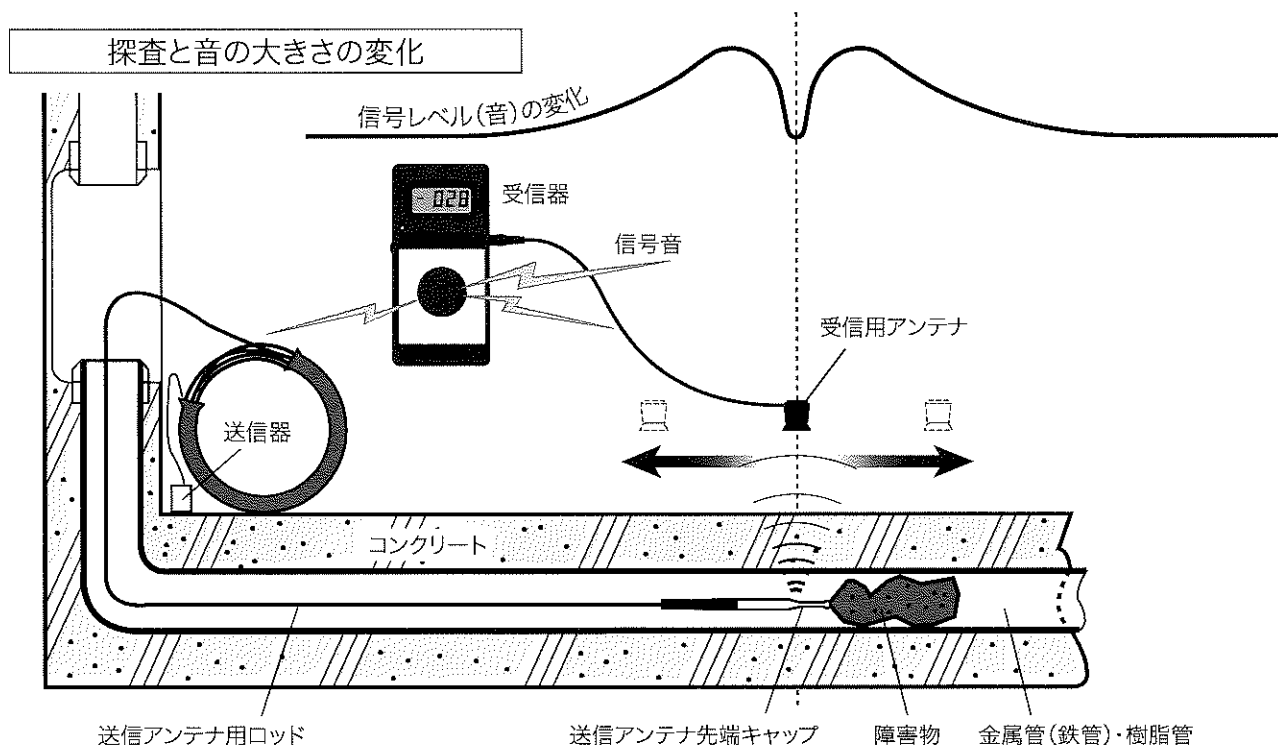


- ⑤受信用アンテナの先端を前後左右にゆっくり動かし、信号音の大きさと、受信レベルを参考に
障害物の位置を探知します。



CD管・PF管・VE管等の障害箇所の探知

- ①受信器に受信用アンテナを接続し、受信用アンテナを送信アンテナ用ロッドに近付けると、送信アンテナ用ロッドから輻射される発信音が聞こえます。
その発信音が一番大きく聞こえる所を探しながら、送信アンテナ用ロッドの先端に向かって進んでいきます。
- ②障害物の位置に近くなるとその音がだんだん大きくなり、障害物の位置に来ると急激に音が小さくなり、さらに障害物の位置を過ぎるとまた急激に音が大きくなります。
このように、急激に音が小さくなった音の谷の部分に障害物の位置です。(下図参照)



電線管等の鉄管(金属管)障害箇所の探知

基本的にはCD管等と同じ方法で探知していきます。ただし鉄管の場合は電磁波の輻射レベルが下がるので、送信アンテナ用ロッドから輻射される発信音が小さく、聞き取りづらい場合があります。(鉄管の深さや種類によります) その場合でも、障害物の近くなると、送信アンテナ用ロッドの送信アンテナ先端キャップから、強い電磁波が輻射されるので、上記②の様に発信音の変化を十分聞き分けることができます。

既設の配管等で行方不明の管路を調べる場合

送信アンテナ先端キャップからの強い電磁波を受信しながら、送信アンテナ用ロッドを徐々に送り込み、その送り込みに合わせて発信音を追っていくと正確に経路がわかります。
(送信アンテナ用ロッドが水中に入ると、探知距離は低下します)

【性能】

適用管	管サイズ	最大探知距離
CD管 PF管 VE管	管サイズの 影響なし	1m
電線管	φ20	80cm
ガス管	φ50	30cm
水道管		
ヒューム管	管サイズに大差なし	1m

※施工及び周囲環境(ノイズ)の状態により探知距離は変わります。